

轍わだち

2011, 6. 4 NO19

「喜びのお礼状」が届いています！

たくさんあり、いずれも長文なので、一部抜粋して掲載します。

平安女学院の皆様へ

朝早く届いたお布団はすべてその日のうちにみなさんにお届けできました。お布団を受け取りに来られた方の中にはまだ、電気も水もない壊れた家に暮らしている方々もいらっしゃいました。この日より、自分だけの真新しいお布団を持つ喜びと安らぎを手に入れました。喜びは希望と明日への力を生み出す糧となります。本当に有り難うございました。気仙沼はまだ混乱の中にあり、支援をいただいた被災者一人一人がそれぞれの御礼を申し上げられないことを皆心苦しく思っています。

励ましのお気持ちを無駄にしないためにも、私たちは前を向いて一步一步日常を取り戻す努力をしていますので、今後とも東北の地をお見守り下さいますようお願い申し上げます。

本当に有り難うございました。

4月30日に行われた応援イベントの様子をDVDで拝見しました。その一生懸命さと思いやり、そして被災地のために祈ってくださる姿に胸が熱くなりました。

＜ピースバディー代表者より＞

私は、気仙沼で被災しました。津浪により、家屋・工場・店舗・事務所、すべてを一瞬に失いました。幸い家族5人は無事でした。親戚の厚意で住む場所もあり、避難所にいたところに比べると天国です。しかし、なかなか眠れなかった日も多かったのですが頂いたお布団にしてからぐっすり眠れています。本当に有り難うございました。応援して下さい方への恩返しするためにも、必ず気仙沼は復興してみせます！この感謝の気持ちが届きますように。

＜Hさんより＞

お布団の荷を開けました。最高です！本当に有り難うございました。

＜Oさんより＞

先日は物資をたくさん有り難うございました。私が必要な分は頂き、後は自治会館に持って行き、皆さんに喜んで持って行ってもらいました。先生・生徒さんたちの気持ち、とても嬉しかったです。本当に有り難うございました。

＜Kさんより＞



みんなが提供してくれた品を確実に必要な人に渡すために、
支援物資を配布する役割を担って下さった卒業生からの報告の手紙です

一人の優しさが一番人を元気にさせるようですー

台風2号の北上にともない、雨風強い今日の
気仙沼です。おと、夕(生)午後、京都からの
支援物資49箱届きました。(株)カシクス様よく
遠路はるばる搬送して下さいました。
ありがとうございました。ありがとうございました。
昨日(5/9)までに9割の物が、欲しい方にもって帰って
頂くことができましたよ。これだけのたくさんの物を
よく集めて下さいました。
見に来て下さる方みなさん「頂いていいの。」「私は
こんなにもうたから後は他の人のためにとっておいて
あげて。」と口々に感謝して帰られました。
今井先生から、「尾崎(旧姓)があげたいと思う人
に配ってくれて、貴女が喜んでくれたら嬉しい。」と
応援エールを頂き、私は、気仙沼に来た当初の友人
から順番に声をかけ見に来てもらいました。お休み
の日に出かけて来てくれて、喜んで帰ってもらえたのが
私は一番嬉しかったです。平安女学院のみなさんも
思いやりのある素敵なみなさんです。私は、気仙沼に
来て4年越し、こんな良い方と出会っていたことを知り、
感動しました。みなさんのお陰です。

家に帰ってからも、ありがとうメール頂きました。
電話ももらいました。「旦那が喜んでました。ありが
とうございました。」「で大丈夫太っているばあちゃんも
入ったし。」「いっぱいありがとう。」「気持ちの優しさか
本当に嬉しいです。」「広野のばあちゃんも喜んでました。
広野の家族は外着で歩くかも。」
京都の学生が、東北の事、気仙沼の事を心配
して、「私達にできることはないかと動いてくれたようです。」
と伝えながら、頂いた物資を渡しました。
こちらの人も物資はもうほとんどですが、人の優しさ
が一番人を元気にさせるようです。だから、
思っただけで、準備して下さって、送って下さる人の心
が、今度は、頂いた人が、自分だけじゃなくて、他の人に
も喜んでもらいたいという気持ちになり、動いていくのですね。
私は、自分だけじゃなくて、他の人にもという気持ちで、
とっても、とっても、嬉しいです。
みなさんの支援物資を、気仙沼へと、思っただけで、
本当にありがとうございました。

平成二十三年五月三十日

吉村